

大椎っ子、あすみっ子田んぼ 2010 田植え編

小山では3年前から大椎小学校の5年生が米づくり体験をしています。今年は4クラスと人数が多く、これまでの経験から狭い田んぼよりも広い田んぼでゆっくり米づくりをした方が良かったことから、いつもの小学校田んぼに加えて隣のYPP田んぼまで場所を広げて田植えをしました。これまでで一番広い面積での米づくりです。また、大椎小と学区が隣接するあすみが丘小学校からも同じく5年生の米づくり体験を希望する申し出がありました。大椎小田んぼの横にアシ原となっている田んぼがあるのですが、開墾するには時期が遅かったことから、2年前からYPPが米づくりをお手伝いしている地元の方の田んぼをお借りして米づくりをすることになり、田植えを行いました。

両校の活動にはYPPのスタッフが声をかけてYPPイベントの常連の方、保護者の皆さんなど多くのボランティアの方々がお手伝いに駆けつけて下さいました。かつてお子さんが学校田んぼを経験した保護者の方までお手伝いして下さい、うれし限りです。皆さん、ありがとうございました。

両校の田植えの様子を保護者の方に伝えていただきます。

■大椎小学校 5月28日(金)

5月のさわやかな日に5年生の田植え&自然観察が行われました。

澤田先生の元気のよい号令で学校を出発して小山町まで歩く子供たちの歩みの早さに成長を感じながらボランティアのお母さんたちも一緒に歩きました。

NPOの方の話を真剣に聞き、田植えチームと自然観察チームに別れて作業を開始。裸足で入る田んぼに抵抗があるかなと心配していましたが、さすが5年生、しっかり苗を受け取り整然と苗を植え付けました。2、3株をまとめて植え付けます。田んぼの端から端に一本のロープを渡しロープに沿って植え付けます。植える少しずらします。その繰り返しです。田んぼの泥の状態によって植え付けるのもなかなか難しく、泥が軟らかくてなかなかまっすぐ苗が立たなくて四苦八苦。小さい頃から見慣れていた田植えがこんなにも大変だったのだなあ実感しました。ロープに沿って等間隔で植えつけることに意味があることはさることながら、きれいにならんでる苗がとても美しく感動さえおぼえました。田んぼの泥に足をとられ泥んこになった男の子は数知れず、お母さんたち顔を想像するのも楽しかったです。自然観察はもうすでに田んぼに入ったの？と見間違っ子供もいたぐらい泥んこになって色んなところに入って経験できたようでした。タニシにおたまじゃくしにかえる、アメリカザリガニなどたくさんの生き物と出会えたようでした。田んぼの横には湧き水もありきれいな水が湧いていました。あすみが丘の住宅地からそんなに離れていない小山町の自然の豊かさを子供たちと実感できた一日でした。



裸足で泥の感触を味わいながらの田植えです。

受け取り整然と苗を植え付けました。2、3株をまとめて植え付けます。田んぼの端から端に一本のロープを渡しロープに沿って植え付けます。植える少しずらします。その繰り返しです。田んぼの泥の状態によって植え付けるのもなかなか難しく、泥が軟らかくてなかなかまっすぐ苗が立たなくて四苦八苦。小さい頃から見慣れていた田植えがこんなにも大変だったのだなあ実感しました。ロープに沿って等間隔で植えつけることに意味があることはさることながら、きれいにならんでる苗がとても美しく感動さえおぼえました。田んぼの泥に足をとられ泥んこになった男の子は数知れず、お母さんたち顔を想像するのも楽しかったです。自然観察はもうすでに田んぼに入ったの？と見間違っ子供もいたぐらい泥んこになって色んなところに入って経験できたようでした。タニシにおたまじゃくしにかえる、アメリカザリガニなどたくさんの生き物と出会えたようでした。田んぼの横には湧き水もありきれいな水が湧いていました。あすみが丘の住宅地からそんなに離れていない小山町の自然の豊かさを子供たちと実感できた一日でした。

繰り返しです。田んぼの泥の状態によって植え付けるのもなかなか難しく、泥が軟らかくてなかなかまっすぐ苗が立たなくて四苦八苦。小さい頃から見慣れていた田植えがこんなにも大変だったのだなあ実感しました。ロープに沿って等間隔で植えつけることに意味があることはさることながら、きれいにならんでる苗がとても美しく感動さえおぼえました。田んぼの泥に足をとられ泥んこになった男の子は数知れず、お母さんたち顔を想像するのも楽しかったです。自然観察はもうすでに田んぼに入ったの？と見間違っ子供もいたぐらい泥んこになって色んなところに入って経験できたようでした。タニシにおたまじゃくしにかえる、アメリカザリガニなどたくさんの生き物と出会えたようでした。田んぼの横には湧き水もありきれいな水が湧いていました。あすみが丘の住宅地からそんなに離れていない小山町の自然の豊かさを子供たちと実感できた一日でした。

荒井 真紀(大椎小5年生保護者)

ロープに沿って植えていきます。

■あすみが丘小学校 6月2日(水)

あすみ田んぼのお手伝いをさせてもらいました。

私自身泥んこ遊びや虫蛙など苦手だったので子供達、特に女の子は平気なのかな？とちょっと心配でした。でも、そんな心配もよそに、ちょっとおっかなびっくりの子もいましたが、楽しそうに田んぼに入って田植えをしていて、それでも苗を植える時は真剣な顔つきになり、もっとやりたいと言っている子もいて、私も心の中でそうそうやり始めると夢中になるね、と思いながら、時間が決まっているので「交代ね！」などと声をかけ、5年生で、もう上級生ですが、本当にかわいい、泥んこなのにキラキラした姿を見る事ができて、本当、私もう

良い天気に恵まれました。まずは田植えのやり方や注意事項を聞きます→

山内 昌美(あすみが丘小5年生保護者)

れしく楽しい一時でした。最初と最後に説明や注意点など係の方からお話を聞く時間が有りましたが、聞いている真剣な姿にも感動しました。きちんと切りかえができていて、えらい、ちゃんとお兄さんお姉さんになっているのねーと、家や学校では見られない一面を見て、得した気持ちになりました。ありがとうございました。



植える分の苗を分け取るのが結構大変。

泥に足を取られないように気をつけて！そ〜っと歩きます

谷津田いきもの図鑑 No. 43

ホタルブクロ

ホタルが飛び始める6月になると釣り鐘のような形の花を咲かせるのがホタルブクロです。下大和田でも小山でも谷津の斜面林の縁に生育し、釣り鐘の長さが5~8センチと大きくてとてもよく目立つ花です。

花の色は淡い紫色や白で、濃い紅色の小さな斑点があります。植物の分類でいうとキキョウ科に属していて、キキョウと同じように花びら（花弁）がお互いにくっついた“合弁花冠（ごうべんかかん）”というしくみの花です。

釣り鐘の中をのぞいてみると雄しべと雌しべがありますが、花が咲いた最初の頃は黄色い“やく（花粉の入った袋）”を付けた雄しべが目立ちますが、しばらくすると雄しべは枯れて中央にある雌しべが伸びて成熟します。一つの花に雄しべと雌しべの両方がある“両性花（りょうせいか）”ですが、雄しべと雌しべの成熟する時期をずらして、自家受粉することを避けるしくみを備えているのです。ちなみにホタルブクロのように雄しべが先に成熟することを“雄性先熟（ゆうせいせんじゅく）”と呼ぶそうです。キキョウにも同じしくみがあり、言わば男から女への変身ですね。

ホタルブクロという名前の由来として、釣り鐘のような花の中に本物のホタルを入れて光らせて遊んだから、とよく言われます。“螢袋”というわけですね。でも、お年寄りに伺っても実際にそのようにして遊んだという話を聞いたことがありません。一方でホタルブクロのことを“提灯花（ちょうちんばな）”と呼ぶ地方もあるそうで、釣り鐘型の花を提灯に見立てているようです。提灯は古く“火垂（ほたる）”と呼ばれていたことから、ホタルブクロという呼び名がそこから生まれたという説もあります。夜、ハイケボタルを見に行った時、林の縁に咲くホタルブクロの白い花が月明かりにかすかにぼーっと見え、淡い光の提灯のようでした。いずれにしてもホタルの季節に谷津でとてもよく目立つ花としてホタルブクロは梅雨の季節を代表する花です。（高山 邦明）



斜面林の縁に咲くホタルブクロ（小山にて2008/6/14 撮影：高山邦明）





里山たんけんレポート

第 125 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2010年6月6日(日) 晴れ

スタート早々、ヤマカガシのこどもが車にひかれていました。他にもヤマカガシ、アオダイショウがいました。ニホンアカガエルの子どもが陸に上がり、ヘビもカエルを求めて出てきています。子ども達がオニヤンマ捕まえた！と大きな声、ちょっと早すぎる！と確認したところヤマサナエでした。今年はヤマサナエがたくさん羽化しました。(U字溝で167個の羽化殻を採取しました。)林縁で休んだり、パトロールしている姿があちこちで見られました。ところが早すぎるといったオニヤンマが羽化して林縁で翅を伸ばしていました。やっぱり大きい！立派！と感嘆の声があがりました。前回から捕虫網を持ち虫を捕らえての観察もすることにしましたが、ガマズミの花を捕虫網で掬ったところ、普段あまり見ない名の判らない虫がたくさん入りました。大型のオオホシカメムシも入っていました。

地元のおばあちゃんに会い、ちょっとお話を伺いました。こどもの頃オニヤンマのことを「タナバトンボ」とか「オンジョ」と言っていたそうです。ナワシロイチゴのことは「カナカナイチゴ」と。何れも季節や雰囲気までも表した素敵な名称ですね。

(参加者 大人12名、高校生6名、子ども8名； 報告：網代春男)

第 110 回 下大和田 YPP「田んぼの草取り」

2010年6月19日(土) くもり

早朝の激しい風雨に子ども交流館の田んぼ講座は中止となり、参加者がちょっと少なかったのですが、天候が回復し、予定どおり、田んぼの草取りをしました。草取りを始める前に、田んぼの雑草について説明を聞きました。この季節たくさん見られる草、貴重な草、花がきれいな草など特徴を解説していただいたお陰で、草取りが単純作業でなく、自然観察を兼ねた楽しみながらの作業になりました。

田んぼには芽を出し始めたコナギがびっしり。一本一本は簡単に抜けるのですが、全部抜くには泥の表面をまんべんなく手でかき乱すしかなく、這いつくばるような格好での作業は容易ではありませんでした。午前中にコシヒカリ田んぼを済ませ、午後はコツをつかんだので効率よくカヤネズミ田んぼの草を取り終えることができました。草取りが終わった田んぼを眺めるのはとても気持ちがいいものです。少人数ながらとてもがんばって下さった皆さんのおかげです。お疲れさまでした。

林ではホタルブクロが、畦ではツユクサが花を開き始めています。時折、上空を「テッペンカケタカ」と元気にさえずりながらホトトギスが通り過ぎていきました。そう、斜面林から田植えの時に続いて今回もキビタキの美しいさえずりが終始聞こえていました。もしかすると今年は下大和田で夏を過ごすのかもしれないね。

(参加者 大人10名、小学生3名、幼児3名； 報告：高山邦明)



少人数でしたが田んぼがすっかりきれいになりました(撮影：田中正彦)

第 56 回 小山町 YPP「田植え (その2)」

2010年6月5日(土) くもり

小山で古代米の田植えをしました。

緑区子どもサポートセンターの親子連れ30人に加え、小山で田植えをした地元あすみが丘小学校、大椎小学校の子どもたち、先生方が参加し、総勢何と70人という記録的ににぎやかな田植えとなりました。ホームページを見てはるばる足立区から来て下さった親子もいました。

子どもサポートセンターの皆さんには一枚の田んぼを植えていただきました。小さなお子さんも大勢いたのですが、みんな最後まで一生懸命植えていて、植えた後がしっかりと揃っていてとても上手でした。ちょうどアカガエルがオタマジャクシからカエルに変身したばかりで、おチビちゃんがたくさん足もとを跳ね回っています。シュレーゲルアオガエルの泡の卵塊の中でオタマジャクシが孵化しているのも見つけました。

一方、地元小学生はというと田んぼに来たのは泥んこ合戦をするため。学校で田植えをした時に泥遊びの話聞いてぜひやりたかったようです。田植え前の一つの田んぼで壮絶な泥投げ大会が行われ、みんな全身まっ黒になりました。女の子も大勢いて元気いっぱいでした。泥投げでみんなが田んぼの中を走り回ったおかげできれいに代かきが終わりました。

大気の状態が不安定で、田植えが終わったところに少し雨が降る天気、ずぶ濡れになった子どもたちは寒さに震えていましたが、その後、急に天気が回復し、今度は暑いくらいになりました。

皆さん、お疲れさまでした。

(参加者 緑区子どもサポートセンターの親子30名、大人13人、小学生25人、幼児2人； 報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月13日 ホタルブクロが咲く。田んぼからアキアカネが羽化。まっ赤なショウジョウトンボが田んぼにやってきて縄張り争いをしていた。ギンヤンマの姿を見る(高山)。
6月20日 ツユクサが咲き始める。田んぼからアキアカネ、コノシメトンボが羽化(高山)。

下大和田

- 6月19日 ホタルブクロやツユクサが咲き始める。コンクリート水路でヤマサナエが産卵。斜面林からキビタキのさえずりが終日聞こえていた。渡りの途中ではなく夏を越している様子。親子らしいアオサギを見る(高山)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも)：ちば環境情報センター (TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/)

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

大切なお知らせ

7月一杯、下大和田でいつもお借りしている駐車場が使用できなくなりました。お手数ですがバスを利用して下さいますようご協力をお願いします。どうしても車を使う必要がある場合には事前にちば・環境情報センターまで電話(043-223-7807)あるいはメール(hello@ceic.info)でご連絡をお願いします。

▼第111回 下大和田 YPP「畦の草刈り」

畦の草刈りをします。最初に鎌の使い方だけでなく研ぎ方も講習します。稲刈りでも使う鎌ですので使い方をしっかりと覚えておきましょう。小さなお子さんも大丈夫ですよ。自然観察もしますのでお楽しみに。

日時：2010年7月24日(土)、10:00~14:00、小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など>料金は520円)

持ち物：弁当、飲み物、長靴(長め、できればホームセンターで販売している田植え用長靴)、軍手、敷物など。

参加費(資料代等)：ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催：ちば環境情報センター 共催：ちば・谷津田フォーラム

▼第127回 下大和田 8月の谷津田観察会とごみ拾い

クワギ酒場も間もなく閉店になります。樹液に集まる虫を中心に観察しましょう。

日時：2010年8月1日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合：下大和田 YPP に同じ

持ち物：筆記用具、飲み物(暑いのでたっぷり)、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費：100円(小学生以上、資料代など)

主催：ちば・谷津田フォーラム 共催：ちば環境情報センター

▼第57回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

ぐんぐん生育する田んぼの草取りをします。梅雨の季節の生き物を観察しながら楽しく田んぼの作業をしましょう。

日時：2010年7月10日(土) 10:00~12:30 *小雨決行

場所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場
(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物：飲み物、長靴(長め、できればホームセンターで販売している田植え用長靴)、軍手、敷物など。

参加費：100円(小学生以上、資料代など)

主催：ちば環境情報センター

編集後記 今年は4~5月の低温と日照不足のせいか害虫が少ないと地元の方から聞きました。谷津を散策していて毛虫が少ないのは実感します。これからカメムシやウンカの季節を迎えますがどうでしょう？ 害虫が少ないのは朗報ですが、異常気象のおかげというのはちょっと素直に喜べない感じがします。今年は梅雨の中休みがなく梅雨らしい天気が続いていますが、これから夏にかけてどのような天気になるのか、それが谷津田の米づくりにどのように影響するのか気がかりです。(高山邦明)